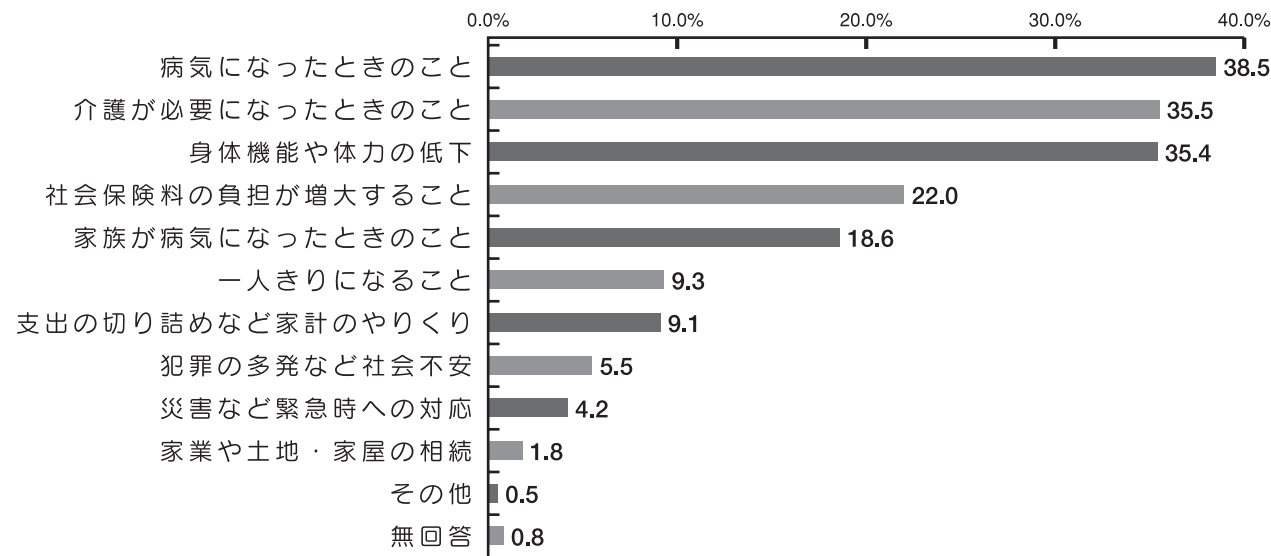


グラフ3 不安の内容 (2つ以内)



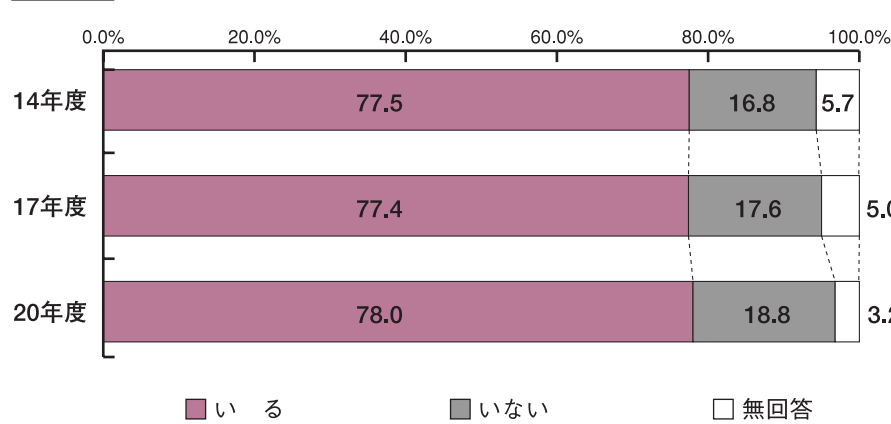
◆ **社会との関わり合いは「働けいらい」**

高齢者の孤立を防ぐために、地域社会との関わり合いが大切です。その状況を把握するため、近所に気軽に話ができる友人の

◆ **新しい保健・医療制度の認識**

保健・医療については、これまでと大きく制度が変わりました。そこで、どの程度認識されているかを伺いました。昨年度から実施されている介護予防のための「生活機能評価」について、知っている方は47・3%と半数を割っています。また、メタボリックシンドローム対策（内臓脂肪症候群）として、今年度から40〜74歳の方を対象に実施することになった「特定健康診査・保健指導」について、知っている方は65・6%となっています。75歳以上の方を対象にした「後期高齢者医療制度」について、知っている方は90・3%と非常に高くなっています。

グラフ4 気軽に話ができる友人の有無 (経年比較)



有無を伺ったところ、グラフ4のとおり、78・0%の方が「いる」との回答をいただきましたが、その反面、「いない」と回答された割合が増加しています。これは、退職後地域に回帰したばかりの方が増加したためと考えられます。また、社会活動への参加を把握するため、現在行っている社会活動と参加したい社会活動を伺いました。現在の活動はグラフ5のとおり「働くこと」が33・1%と最も多く、「趣味や教養の活動」が24・4%、「健康づくり」

◆ **悪徳商法や振り込め詐欺による被害**

安心に関する問題として、悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が後を絶ちません。寄居警察署管内でも被害が報告されています。今回の調査では、被害の有無と、その内容について伺いました。

お答えいただいた方の8・5%が被害にあっています。

被害の内容は「点検商法」が最も多く、次いで「次々販売」、「その他の悪徳商法」、「振り込め詐欺」の順となっています。ここで、注意しなければならぬのは、被害にあっても「相談をしなかった」など、対処をしなかった方が30・8%の割合になっていることです。しかたがないといった考えが、犯罪者を増長させ、被害者を増大させていることに注意しなければなりません。

また、被害にあっていることに気がつかないといった数字に現れない可能性があることも考慮しなければなりません。

平成20年度

高齢者生活実態調査を実施しました！

町では、第5次寄居町総合振興計画に掲げる「高齢者が心身ともに豊かに暮らせるまちづくり」を進めるための「高齢者保健福祉計画」を改訂するにあたり、高齢者の生活状況や福祉サービスの利用状況などを把握するため、平成14・17年度に引き続き、次のとおり「高齢者生活実態調査」を実施しました。その結果がまとまりましたので、一部をご紹介します。

問い合わせ／健康福祉課 (☎581・2121内線124) へ。

【高齢者生活実態調査】

●調査対象者	要介護認定者を除く在宅の65歳以上の方
●サンプル数	1,500人 (無作為抽出)
●調査方法	民生委員による配布・回収
●調査時期	平成20年6月
●有効回答率	94.7% (回答数：1,420人)

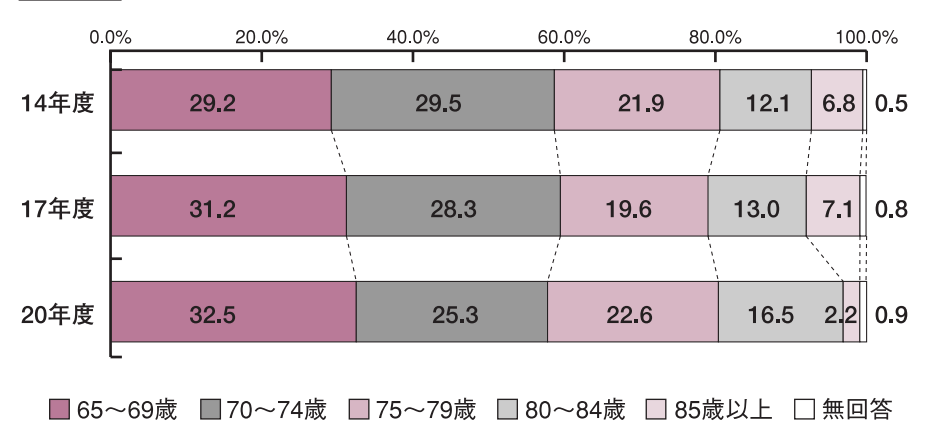
高齢者の年齢等の構成

◆ **高齢者の年齢等の構成**

町の今年4月1日現在の人口は37,544人で、平成17年度と比較すると1・7%減少し、高齢化率は21・7%に上昇しています。この傾向は、今後も続くものと予想されます。

アンケートの回答者は、65〜69歳までは男性が52・5%と女性を上回っていますが、70歳以上では女性が多くなり、85歳以上では男性の29・0%に対し女性が64・5%となり、2倍以上の開きがあります。また、全体でも女性が52・4%で男性を上回っています。

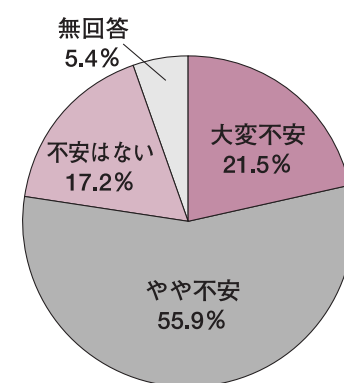
グラフ1 年齢構成 (経年比較)



年齢構成では「75歳未満」の前期高齢者が57・8%となり、「75歳以上」の後期高齢者の割合は上昇傾向にあります。後期高齢者の割合は上昇傾向にあります。(グラフ1参照)

家族構成では、3世代などの多世代世帯が44・1%と最も多く、次いで夫婦ふたり暮らしが30・2%となっているものの、平成14・17年度と比較すると多世代世帯は減少し、単身世帯が増加しています。また、単身世帯と答え

グラフ2 現在、将来への不安の有無



不安を感じている方に、その内容を2つ以内で答えてもらったところ、グラフ3のとおり「病気になること」が最も多く38・5%、次いで「介護が必要になったときのこと」が35・

自分の身体面に 関することが不安

◆ **自分の身体面に 関することが不安**

社会保障に関する「安心プラン」が政府から出されるなど、今日では「安心」が大きなテーマとなっています。そこで、現在または将来の生活に対する不安の有無を伺ったところ、グラフ2のとおり「やや不安」が最も多く55・9%、「大変不安」が21・5%、あわせると77・4%の方が不安を感じています。

不安を感じている方に、その内容を2つ以内で答えてもらったところ、グラフ3のとおり「病気になること」が最も多く38・5%、次いで「介護が必要になったときのこと」が35・

た方に、「最も頼りになる人はだれか?」と伺ったところ、「子供」が54・7%となつていますが、前回よりも減少しており、反面、兄弟や友人といった割合が増え、「遠くの子」よりも「近くの兄弟・友人」という傾向が見受けられます。